

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第1回宮古市文化財保護審議会を次のとおり開催しました。

令和6年10月22日

宮古市文化財保護審議会

1 開催日時

令和6年10月10日（木） 午後2時00分～3時40分

2 開催場所

宮古市立山口小学校 特別活動室

3 議題

- (1) 令和5年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について
- (2) 令和6年度宮古市文化財保護事業計画及び実施状況について
- (3) 「宮古市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定について

4 会議の概要

事務局より説明を行い、審議のうえ了承された。
詳細は別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市教育委員会事務局文化課学芸係
電話番号0193-65-7526

令和6年度第1回宮古市文化財保護審議会 開催結果

1 出席者（8名）

池田理恵・神楽栄子・駒井一裕・佐々木信一・高畑裕莉香・豊坂一寿・中嶋勝司・柳澤忠昭

2 欠席者（2名）

尾形洋一・武内 寛

3 事務局出席者（12名）

教育委員会教育長 伊藤晃二、教育委員会文化課長 安原 誠、
教育委員会文化課学芸係長 江口邦泰、同係 千葉剛史主査、菊池駿貴学芸員、
沼崎雅弘学芸員、高橋弘美学芸専門員、田代奈緒美施設管理事務員
教育委員会文化課埋蔵文化財センター 長谷川真所長、上條瑞貴文化財調査員、
市史編纂室 假屋雄一郎室長、田崎農巳主査

4 傍聴者

なし

5 議事等

- (1) 令和5年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について
前回の審議会で意見があったことについて事務局から経過を報告した。
- (2) 令和6年度宮古市文化財保護事業計画及び実施状況について
令和6年度の事業実施計画について事務局から説明、審議を行い、承認された。
- (3) 「宮古市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定について
令和6年7月に文化庁認定を受けたことについて事務局から報告した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「令和5年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について」】 <質疑なし> 【議題(2)「令和6年度宮古市文化財保護事業計画及び実施状況について」】 (委員) 4月～6月に崎山貝塚縄文の森ミュージアムで開催されたテーマ展「みやこの学校」を見学したが、少子化に伴い、学校の取り組みや今後廃校になる学校の活用の様子について紹介してもよいかと思う。 (委員) 参加人数が少ないイベントがあるが、どういった告知をしているか。 (委員) 未指定のものを今後指定の文化財に取り上げてでもいいような文化財はあるか。 (委員) 山口小学校3年生の児童を対象としたチョウセンアカシジミ成虫観察会について、3年生にしているのは何か意味があるか。 (委員) チョウセンアカシジミ産卵数調査について、山口小学校の児童が調査に参加している	(事務局) 統合・廃校になった学校にも歴史があり、その歴史を後世に伝える展示を実施できるようにしたい。 (事務局) 記者クラブ・ポスター・チラシ・広報みやこへお知らせしているが、参加人数には直接結びつかない。今後は積極的に情報発信をしていく。 (事務局) 認定を受けた「宮古市文化財保存活用地域計画」の中には、未指定のものがリスト化されている。今後の取り組みにより、指定にしていくなど文化財の保存と活用を進めていきたい。 (事務局) 3年生から理科の授業が始まり、4月から6月にかけてモンシロチョウの飼育実験がある。その中で、モンシロチョウとチョウセンアカシジミを比較する授業があることから学校側が3年生を対象としている。

が、その他産卵地に近い田老第一小学校の児童にも声を掛けてみてはいかがか。（意見）

（委員）

市史編纂事業の資料収集、整理・保存について、空き家の整理が増えているとのことであつたが、空き家になってしまい、持ち主から貴重な資料があるから見てほしいということと言われ、調査・収集しているのか。

（委員）

北上山地民俗資料館小国分館の敷地内にシカのフンが多く、イベントを行う際にその対応に苦慮している。いつも人手を使ってフンを回収するのは効率的ではない。また、草刈りの回数を増やしてもシカは新しく芽吹いたものを好むので効果は上がらないと思う。電気柵が有効と思うがどうか。

（委員）

江繫に記念館があるが、西塔幸子さんについてもっと取り上げてほしい。（意見）

（委員）

9月に開催された「地域の魅力再発見・門馬地域編」について、当該地はジオパークや文化財での活用が期待できると思う。研究者を誘致して地質への理解を深めていくのも一つと思うし、石碑や旧宮古街道を案内することにより開削者である牧庵鞭牛への理解に繋がっていくのではないかと思う。（意見）

（委員）

市内の郷土芸能について、どこも人手不足で、なり手がいない状態である。学校行事として郷土芸能を続けてもらいたい。今実施している記録保存も継続し、人数が多くなれば復活できるようにしてもらいたい。また、今

（事務局）

空き家を解体する際、亡くなった両親や先祖が残したものが出てきた時に、役立つのであれば保存してほしいと連絡があり収集している。

（事務局）

人海戦術で回収するのは効率的ではない。地元の方に相談しながら改善策を図ってきたい。

後も衣装の洗濯代などの補助も続けていた だきたい。（意見） 【議題(2)「令和6年度宮古市文化財保護事 業計画及び実施状況について】 （委員） ＜質疑なし＞	
--	--